

第2回転倒災害防止コンテスト 表彰事例発表

盛岡労働基準監督署では、転倒災害防止するための取組事例を管内事業場から募集・表彰する第2回転倒災害防止コンテストを開催しました。

同コンテストにおいては、転倒災害防止対策として重要な「4S（整理・整頓・清掃・清潔）」、「危険の見える化」、「設備改善」、「体づくり」、「リスクアセスメント」の観点から応募事例の審査を行い、他の事業場の参考になるものを選出し、表彰しました。

*今回紹介した事例以外の応募事例については、後日事例集として公表予定です。

表彰者一覧

「4S活動部門」

岩手三八五流通株式会社
テクニカルセンター盛岡（矢巾町）

「見える化部門」

株式会社いわちく（紫波町）
白石食品工業株式会社（盛岡市）
西濃運輸株式会社 盛岡支店（盛岡市）
東北鉄道運輸株式会社 盛岡営業所（盛岡市）
森永乳業株式会社 盛岡工場（盛岡市）

「設備改善部門」

東北電力ネットワーク株式会社
盛岡電力センター（盛岡市）
新潟運輸株式会社 盛岡支店（矢巾町）
北海道東北名鉄運輸株式会社
盛岡支店（矢巾町）

「リスクアセスメント部門」

ヤマト・スタッフ・サプライ株式会社
岩手支店（盛岡市）

「体づくり部門」

株式会社カガヤ（盛岡市）
株式会社タカヤ（盛岡市）
ヤマト・スタッフ・サプライ株式会社 岩手支店（盛岡市）



前列左から、岩手三八五流通（株）テクニカルセンター盛岡、（株）いわちく、白石食品工業（株）、署長、西濃運輸（株）盛岡支店、東北鉄道運輸（株）盛岡営業所、森永乳業（株）盛岡工場
後列左から、安全衛生課監督官、東北電力ネットワーク（株）盛岡電力センター、新潟運輸（株）盛岡支店、北海道東北名鉄運輸（株）盛岡支店、（株）カガヤ、（株）タカヤ、ヤマト・スタッフ・サプライ（株）岩手支店、安全衛生課長 敬称略

○4S活動部門

岩手三八五流通株式会社
テクニカルセンター盛岡（矢巾町）

取組ポイント

・工具類の整理整頓と合わせ、照明のLED化により視認性を高め、つまづき転倒防止に取り組んでいる。



監督署より

・照度を十分に確保することで、段差やコードに気がつきやすくなり、つまづきによる転倒災害の防止を図っています。
・視認性を高めることで作業効率の向上にもつながっています。

○見える化部門

株式会社いわちく（紫波町）

取組ポイント

- ・靴底の摩耗による転倒防止のため、分かりやすく写真を添え、長靴の交換目安を周知し、注意喚起を行っている。



監督署より

- ・実際の写真を使用することで、交換時期が確認しやすくなります。
- ・「走らない」「物を置かない」などの注意喚起を併せて行っているのも有効です。



○見える化部門

森永乳業株式会社 盛岡工場（盛岡市）

取組ポイント

- ・転倒災害防止などの「ワンポイントレッスンシート」の作成、掲示、日替わりで内容を変え、日々の安全意識を高めている。



監督署より

- ・必ず作業者の目に入る箇所に掲示しています。
- ・日替わりで内容を変えることで「景色」にならないよう工夫されています。



○見える化部門

白石食品工業株式会社（盛岡市）

取組ポイント

- ・床面の材質の違いにより転倒リスクの高い箇所の床面に「スリップ注意」のステッカーを貼り、注意喚起を行っている。



監督署より

- ・通路の区画にプラスしてステッカーを貼り見える化を行っています。
- ・言葉だけでなく、ピクトグラム（絵記号）を用いることで視覚的に認識しやすくなります。



○見える化部門

西濃運輸株式会社 盛岡支店（盛岡市）

取組ポイント

- ・荷台内での転倒防止のため、作業エリアの制限をラインで区画し、「注意・危険エリア」とし、注意喚起を行っている。



監督署より

- ・荷を置いた状態でもラインが分かるよう荷台の上まで明示してあります。
- ・本事例は通路や倉庫においても有効です。

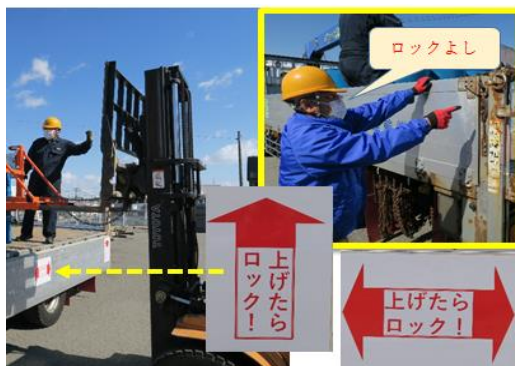


○見える化部門

東北鉄道運輸株式会社 盛岡営業所（盛岡市）

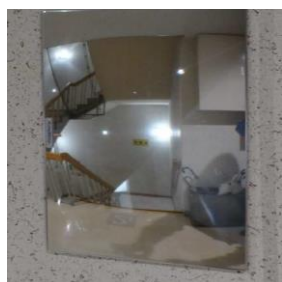
取組ポイント

・荷役作業での転倒・転落防止のため、「指差確認」を励行し、あおりには「あげたらロック！」の掲示により安全意識を向上。



監督署より

・掲示に加えて「指差呼称」を行うことで、より確実にルール順守を図ることができます。



○設備改善部門

東北電力ネットワーク株式会社
盛岡電力センター（盛岡市）

取組ポイント

・通路での出会い頭での追突による転倒防止対策として「FFミラー」を要所に設置している。



「FFミラー」とは…
L字路に設置すると、普通のミラーは自分の姿しか映りませんが、FFミラーは視野が広いので、通路の向こうから来る人がよく見えます。

監督署より

・対向者を確認することで、衝突回避だけでなく、歩行スピードが減速し、転倒のリスクが減少します。

○設備改善部門

北海道東北名鉄運輸株式会社
盛岡支店（矢巾町）

取組ポイント

・トラックホームから降りる際の転倒防止対策として、階段の設置に加え、両サイドに手すりを取り付けている。



監督署より

・階段を設置することでトラックホームへの昇降の安全を確保しています。
・両サイドに手すりを取り付けることでより安全になります。

○設備改善部門

新潟運輸株式会社 盛岡支店（矢巾町）

取組ポイント

・ホームの天井に、「天窗」を設け、更に照明を全てLEDに変更し、照度を高め、床面の視認性を向上させている。



監督署より

・照度の確保により、足元や通路の状況が見やすくなります。
・天窗にすることで、電気代の削減にも寄与しています。

○体づくり部門

株式会社タカヤ（盛岡市）

取組ポイント

・年2回、健康アプリを使ったウォーキングイベントとゴミ拾いの清掃活動を組み合わせ、運動習慣づくりと地域貢献に取り組んでいる。



監督署より

・社内イベントを開催することで、健康管理や体づくりに取り組むきっかけづくりに繋がります。
・健康管理アプリにより、自身の健康状態を把握することができ、意識向上につなげています。

○体づくり部門

株式会社カガヤ（盛岡市）

取組ポイント

・朝礼前に、「アクティブ体操」を実施し、体づくりに取り組んでいる。



監督署より

・15種類の項目から、労働者の体力等に応じて、種類や回数を調整し、全従業員が継続して取り組めるよう工夫されています。

○体づくり部門

ヤマト・スタッフ・サプライ株式会社
岩手支店（盛岡市）

取組ポイント

・高齢者の転倒災害防止のため、転倒リスク評価セルフチェックを活用し、転倒リスク評価を実施している。

対象物の写真		対象物のリスク評価
① 設置する場所	④ 設置する高さ	4
② 設置する場所	⑤ 取っ手の高さ	3
③ 取っ手の形状	⑥ 取っ手の形状	3
⑦ 取っ手の形状	⑧ 取っ手の形状	1
⑨ 取っ手の形状	⑩ 取っ手の形状	2
⑪ 取っ手の形状	⑫ 取っ手の形状	2
⑬ 取っ手の形状	⑭ 取っ手の形状	6
⑮ 取っ手の形状	⑯ 取っ手の形状	6



監督署より

・身体機能の計測等により、自分自身の転倒リスクを把握することができ、体力の維持向上に役立てることができます。

○リスクアセスメント部門

ヤマト・スタッフ・サプライ株式会社
岩手支店（盛岡市）

取組ポイント

・派遣先での災害防止のため、作業に応じた「リスクアセスメント」を実施している。

監督署より

・派遣元と派遣先が協力してリスクアセスメントを行うという理想的な取り組みです。
・転倒リスクを数値化することで、危険性が明確になり、共通の認識を持つことができます。



リスクアセスメント実施状況	
Before (現状)	After (対策後)
11月2日	11月15日
実施状況	実施状況
現状のリスクレベル	対策後のリスクレベル
17	6